

平成28年度 基本評価調書

施策名	農業生産の振興	所管部局	農政部	作成責任者	農政部長 土屋 俊亮	施策コード	06	02
		照会先	農政部農政課 政策調整グループ(内線27-126)	関係課	農政部農政課 ほか			

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

1 目標等の設定(その1)

総合計画等の位置づけ	総計	大項目(分野)	中項目(政策の柱)	小項目(政策の方向性)			総合計画の指標
		2	経済・産業	(1) 農林水産業の持続的な成長	潜在力のフル発揮で地域の経済・社会を支える農業・農村づくり		
北海道創生総合戦略	A3112,A3113,A3132,A3133		北海道強靱化計画	B4221,B7121		新・北海道ビジョン	C00504,C00505,C00506,C01101,C01102,C01105,C01201,C01301,C01302,C01306,C01401,C01402,C01403,C03005,C03006,C06206,C09605
特定分野別計画	第5期北海道農業・農村振興推進計画、北海道果樹農業振興計画、北海道花き振興計画、第7次北海道酪農・肉用牛生産近代化計画、第9次北海道家畜改良増殖計画、北海道農業振興地域整備基本方針						

現状と課題	<p>・本道の農業産出額は全国の1割強を占める約1兆円で推移するなど、我が国の食料の安定供給に大きく貢献している。</p> <p>・しかし、農業経営を取り巻く環境は、経済のグローバル化や農産物貿易の自由化の進展、安価な輸入農産物や農産加工品の流入による農産物価格の低迷などにより、農業所得が減少するなど厳しい環境におかれている。</p> <p>・特に、担い手の高齢化や労働力不足、輸入穀物価格の高騰による酪農及び肉用牛経営を取り巻く環境は厳しさを増しており、生乳生産量や肉用牛の飼養頭数が減少するなど、生産基盤の維持、強化が急務となっている。</p> <p>・加えて、食料生産の基盤である農地の担い手への利用集積の促進や新品種・新技術の開発・普及による安定的な食糧生産の供給、そのための農地の効率的利用や優良農地の確保を図る必要がある。</p>	<p>施策目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・需要に応じた農産物の生産拡大と新たな需要創出を通じた農業所得の確保 ・恵まれた自給飼料基盤に立脚した安全で良質な生乳・牛肉生産の推進、家畜排せつ物の適正管理と活用、家畜衛生対策の推進 ・地域の営農システムへの戦略的なスマート農業技術の導入 ・地域ニーズに対応した普及活動などを通じた農業・農村の活性化 ・病害虫の多発・まん延の防止 ・生産資材(農薬、肥料、農業機械)の適正な流通及び使用の確保 ・担い手への農地の流動化及び地籍調査の積極的推進
-------	--	---

施策の推進体制 (役割・取組等)	施策の予算額	
	<p>【需要に応じた農産物の生産拡大と新たな需要創出の推進】</p> <p>(道) ブランド力強化や道産農産物利用拡大の推進、普及指導員の育成・産地への濃密指導など</p> <p>(国) 安定生産に向けた各種支援制度の実施、企業とのマッチング・地域の栽培体系確立支援など</p> <p>【自給飼料基盤に立脚した生乳生産の推進】</p> <p>(道) 酪農・畜産生産基盤の強化への支援など (国) 生産拡大に向けた各種支援制度の実施など</p> <p>【安全・安心・高品質な牛肉生産に向けた取組の推進】</p> <p>(道) 道産種雄牛を活用した繁殖雌牛群の増頭や生産技術の向上等に対する支援など</p> <p>(国) 生産拡大に向けた各種支援制度の実施など</p> <p>【普及活動の推進】</p> <p>(道) 地域ニーズに対応した普及活動、農作物の生育に応じた営農技術対策の発信など</p> <p>(国) 関係法令の整備など</p>	<p>【スマート農業の推進】</p> <p>(道) 推進協議体の設置・運営、フェア・シンポジウムの開催など</p> <p>(国) スマート農業推進方策の検討など</p> <p>【植物防疫の推進】</p> <p>(道) 病害虫防除所の設置、発生予察事業の実施、防除技術の確立など</p> <p>(国) 関係法令の整備など</p> <p>【農業生産資材安全使用等の推進】</p> <p>(道) 立入り検査等の実施、研修・巡回指導の実施など (国) 関係法令の整備など</p> <p>【地籍調査の推進】</p> <p>(道) 市町村の地籍調査に係る事業量を把握し助成</p> <p>(国) 社会資本整備の円滑化等に重点支援</p> <p>【適正な農地利用の推進と優良な農地の確保】</p> <p>(道) 農業委員会ネットワーク機構・農業委員会への支援など</p> <p>(国) 農地法等の適正運用など</p>
	<p>H28</p> <p>27,206,153</p>	
	<p>H29</p> <p>-</p>	

今年度の
主な取組

：主要指標に
係る取組
：その他の取組

ブランド力強化に向けた首都圏等でのPR活動や業務用米の需要拡大に向けた取組に支援するとともに、飼料用米の生産・利用拡大に向けた取組を推進し、水田のフル活用の実現を図る。
秋まき小麦「ゆめちから」の栽培技術の向上や、需要拡大が見込まれるパン用などの「麦チェン」運動を実施。
てん菜と馬鈴しょの作付け安定化の取組を推進し、北海道畑作農業における輪作体系の維持・確立を図る。
加工・業務用野菜に係る生産・流通等の体系構築や新規野菜の導入検討、野菜の衛生管理対策。
果樹生産者団体と連携し、栽培モデル園の設置や大消費地での産地PRなどにより道産果実の高品質安定生産やブランド力の強化、高付加価値化、需要拡大などの取組みを推進。
国際競争力の強化を図るため、地域の営農戦略に基づく産地の高収益化に向けた取組を総合的に支援。
地域と民間企業が連携した薬用作物の生産モデル構築に対する支援や普及啓発の取組を実施。
産業用ヘンプについて、道内に適した品種選定の取組や生育試験等を実施し、道内での栽培可能性を検証。
地域ニーズに対応した普及活動の実施。
北海道スマート農業推進協議体の設置・運営、スマート農業フェアの開催等、スマート農業の推進。
病虫害防除所の運営、発生予察事業の実施。

農薬適正使用の推進、肥料の登録・検査、農作業安全の啓発。
農地の適正利用と利用集積の促進(農地法等に基づく農地の適正利用と農地流動化の促進、遊休農地の解消対策への取組)
地域の収益力向上を図るため、家畜飼養管理施設の整備等、酪農・畜産生産基盤の強化を図る。
草地の植生改善対策等による生産性向上をはじめとする飼料自給率向上対策による自給飼料基盤に立脚した酪農・畜産の推進を図る。
優良な道産種雄牛を活用し、優良繁殖雌牛群の増頭や地域における生産技術の向上など、和牛生産基盤の維持・拡大を図る。
新規就農者や労働力不足に対応した酪農経営ヘルパーの育成など担い手確保対策や、乳用牛の遺伝的能力の向上に資する乳牛改良の推進により酪農生産基盤の維持・確保と生乳の安定的確保を図る。
放牧酪農の推進や搾乳ロボット導入効果の発現、乳牛のベストパフォーマンスの実現、道内に移住定住を希望する者に農場リースによる新規就農をサポートする取組を実施する。
北海道産牛肉のブランド化対策、消費流通対策、需要拡大に向けた交流会等を開催することにより、安定した北海道産牛肉の生産に取り組む。

1 - 2 取組の結果

実 績 と 成 果 等	(関連する計画等)		
	総合戦略	強靱化	ビジョン
農業団体等と連携し、「ゆめびりか」や「ななつぼし」などの良食味米や業務用米などの販路拡大を図る「米チェン」の取組を推進するとともに、道内の主要コンビニやスーパーなどと連携して、「おむすびの日」などのイベントでの北海道米PRと消費拡大に取り組み、H27米穀年度における北海道米の道内食率88%を確保した。 北海道飼料用米生産・利用推進協議会において、飼料用米の生産・利用拡大に係る課題解決に向けた検討や水田活用の直接支払交付金による支援により、H27年産飼料用米作付面積は2,347haと前年の3倍以上の増加となり、水田フル活用を進めた。	A3112	B4221	C01101
輸入小麦から道産小麦への利用転換を進めるため、需要の拡大が見込まれるパン・中華めん用品種の栽培技術検討会を開催するなど、安定生産技術の生産者への普及・啓発を行うとともに、生産から流通、加工、消費に至る関係者が一体となって交流会や消費者イベントの開催、麦チェンサポーター店の登録など麦チェン運動に取り組み、道民の小麦需要に対する道内で製粉した道産小麦利活用率が31%(H19)から40%(H27)に向上している。	A3112		C01101
てん菜では、低コストで省力的な持続的生産体制の確立や糖量の多い耐病性品種の導入を推進するとともに、高い生産技術等により高品質てん菜の出荷実績を挙げている生産者を対象に「高品質てん菜生産出荷共励会」を開催し、優秀な生産者を表彰するなど、てん菜の作付面積の維持拡大を図り、27年産の作付面積は58,800haで、前年産を1,400ha上回った。また、28年産の作付面積は更なる増加が見込まれている。 馬鈴しょでは、実需者ニーズに対応した作付けを推進し、加工食品用の供給を拡大するとともに、シストセンチュウ抵抗性品種の普及拡大を図るための検討会を開催し、協議・検討を行い、普及拡大に取り組んだ。	A3112		C01101
加工業務用需要に対応が可能な野菜の省力・低コスト生産システムの実証に取り組むとともに、価格安定対策の支援の対象となる野菜の数量を拡大するなど、消費者や実需者が求める道産野菜の計画的かつ安定的な生産・出荷を総合的に推進した。	A3112		C01101
生産者組織が実施する天候不順に対応する結実確保の取組や学校給食への道産果実の導入推進、消費者を対象にした「北海道フルーツマルシェ」の開催など、需要拡大に向けた活動を支援するとともに、道総研と連携して、銘醸ワイン品種の導入実証や栽培評価検討会の開催を支援した。	A3112		C00504 C01101
国際競争力の強化を図るため、産地の高収益化に向けた取組を行う産地に対して、「産地パワーアップ事業」を活用して支援した。	A3112		C01101
薬用作物の生産拡大を図るため、試験研究機関や学識経験者等による検討会を開催するとともに、「北海道薬用作物導入の手引き」を作成した。また、地域生産モデルの構築に向け、市町村、企業及び大学等との情報交換を実施した。	A3133		C01401
道内での産業用ヘンプ栽培技術の確立を図るため、試験栽培の実施や品種選定のための体制整備等を実施し、栽培確立に向けた取組を推進した。	A3112		C01403
地域ニーズに対応した地域課題及び担い手や高付加価値化などの広域課題など普及活動計画に沿った普及活動を展開したほか、農作物生育状況調査の実施及び調査結果の公表、農耕期間中の営農技術対策や気象災害時等における臨時技術対策の発出など、農作物の生育に応じた営農技術対策を発信した。	A3111 A3112 A3132		C01101 C01105
地域の営農システムへの戦略的なスマート農業技術の導入を図るため、推進母体として幅広い構成員からなる「北海道スマート農業推進協議体」を設置したほか、北海道立農業大学校におけるICT農作業機実践研修、スマート農業技術現地実演会を実施した。	A3113		C01301 C01302 C01306
病害虫の多発やまん延を防止するため、病害虫防除所の病害虫発生予察情報により、病害虫の適期防除の時期を決定する重要な情報を公表した。	A3112		C01101
平成27年8月に国内で初めて発生が確認されたジャガイモシロシストセンチュウについて、関係機関・団体と連携して国による発生範囲調査に協力するとともに、防除・まん延防止を図るため、農業登録のための適用拡大試験や対抗植物によるセンチュウ密度低減効果の試験などを実施している。	A3112		C01101
生産資材の適正な流通及び使用を確保するため、北海道農業指導士認定研修会を開催し農業指導士を認定したほか、農薬販売業者等に対する立ち入り検査、肥料生産業者に対する立ち入り検査を実施した。	A3112		C01101
意欲ある担い手への農地の利用集積・集約化を促進するため、農業委員会が行う「農地移動適正化あっせん事業」などに対する指導・助言等を行い、担い手への集積面積が、87.6%(H27.3)から88.5%(H28.3)となった。	A3112		

円滑な土地取引などに資する地籍調査事業について、平成22年に策定された第6次国土調査事業十箇年計画に基づき24市町村において実施し、地籍図及び地籍簿などの公的資料が整備された。		B7121	
予算が不足し一部のニーズに対応できなかったが、地域の収益力向上を図るため、家畜飼養管理施設の整備等、酪農・畜産生産基盤の強化に向けた取組に対して、「畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業」を活用して支援した。(H27:17協議会25事業 H28:35協議会76事業)	A3112		C01102 C01201
飼料自給率の向上を図るため、飼料自給率向上戦略会議を開催し、草地の植生改善対策として強害雑草防除の徹底による良質な自給飼料の増産対策の強化を推進した。(1回開催)	A3112		C01102 C01201
和牛生産基盤の維持・強化と北海道らしい和牛生産を推進するため、道産種雄牛「勝早桜5」を活用した優良繁殖雌牛群づくりに対する取組を支援した。	A3112		C01102
新規就農者や労働力不足に対応した酪農経営ヘルパーの育成など担い手確保の取組を支援した。また、農場リース事業による新規就農25件(H27:9件 H28:16件)、移住定住促進農場リース事業による新規就農5件(H27:5件)を支援した。	A3112		C01102 C01201
安定した北海道産牛肉の生産を推進するため、統一名称を「北海道産牛肉」に定め、生産者及び外食産業提供店のリスト化による消費拡大・認知度向上を図り、また、交流会、料理教室等の需要拡大に向けた取組を支援した。	A3112		C01102

(2) その他の取組の成果等			
国等提案・要望状況	<p>【国費提案(H28.8月)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・TPPの大筋合意により地域の農業などへの長期にわたる様々な影響が懸念されるため、「総合的なTPP関連政策大綱」に盛り込まれた対策の予算化及び関連法の整備について、確実に実行すること。 ・地域の営農戦略に基づいて実施する産地の高収益化に向けた取組を総合的に支援するため、産地パワーアップ事業の中長期的な継続と必要な予算を確保すること。 ・水田フル活用ビジョンに即した産地の取組等を促進するため、地域の裁量で活用可能な産地交付金の必要な予算を確保すること。 ・スマート農業を推進するため、研究開発と農業現場での導入・実証を並行して行う事業を継続的に実施すること。 ・酪農・畜産生産基盤の維持・強化を図るため、畜舎等の施設整備や、搾乳ロボット等の機械導入、哺乳・育成センターやTMRセンター等の地域営農支援システムの整備、性判別精液等の活用等を支援する畜産クラスター事業を中長期的に継続するとともに、必要な予算を確保すること。 ・遊休農地の再生利用を促進するため、耕作放棄地再生利用緊急対策予算の確保すること。 	施策に関する道民ニーズ	<p>農業の公益機能について、もっともっと消費者の皆さん、道民の皆さんにもわかっていたらいいなアピール、PRをしていただきたい(第1回農業・農村振興審議会)</p> <p>各県で一生懸命、県産品を作り、売り込んでいる中、北海道の農産物を買っていただかなくてはいけないので、「ブランド化」や「競争力」はどこを相手にしているのか、競争の相手、仕方をどうすべきかを明確にした方がいいのではないか。(第2回農業・農村振興審議会)</p> <p>家畜飼料がまだ多く外国から輸入されている状況なので、国産飼料の比率を高めてほしい(第2回農業・農村振興審議会畜産部会)</p> <p>赤身主体の牛肉の付加価値向上をきっちと位置づけるべき。(第3回農業・農村振興審議会)</p> <p>土地改良予算が増えたり減ったり安定していない(第1回農業・農村振興審議会)</p> <p>農業就業者の高齢化が進み、担い手が減少する中、耕作放棄地の増加が懸念されており、農地中間管理事業の有効な活用などによる農地の集積・集約化の方策を進める必要がある。(第2回農業・農村振興審議会)</p>

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)	Do & Check 施策評価
---------------------------------------	-----------------

2 連携の状況

2 - 2 連携の取組状況

総合計画の位置付け	連携内容	連携先		取組の実績と成果
		施策コード	関係部・関係課	
	道内各地の資源を活かし、海外需要の積極的な取り込みを図るため、「北海道食の輸出拡大戦略」に即し、関係部局と連携しながら官民一体となり、北海道産食品の輸出拡大を図る	N0503	経済部食関連産業室	経済部食関連産業室と連携し、本道から海外に輸出された農畜産物は約36億円(H27)で、前年度比、約46%増加した。また、北海道ブランドの認知度向上を図るため、27年10月に開催された「2015ミラノ国際博覧会」に出展を行い、世界各国の来場者に対して、料理ショーや試食を通じて、北海道の食の魅力を積極的にPRした。
		-	農政部生産振興局農産振興課・畜産振興課・技術普及課、農業経営局農地調整課	
-	経済部の健康・医療産業に係る生薬の活用を推進する取組に連携しながら薬用作物の生産拡大を図る。	N0511	経済部産業振興課	機能性食品への生薬の利用に向けて、北海道食品機能性表示制度(ヘルシーDo)を紹介するなど、経済部の健康・医療産業に係る生薬の活用を推進する取組に連携しながら薬用作物の地域生産モデルの構築に取り組んだ。

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

Do & Check 施策評価

3 成果指標の設定

3-2 成果指標の達成度合

主	主要指標名(単位)	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	A	評価年度	H26	達成度合の分析 ほか
		基準年度	25	年度	28	最終年度	37					
食料自給率(カロリーベース) (%)		基準年度	25	年度	28	最終年度	37	達成度合	A	評価年度	H26	小麦(2万t)、大豆(1.2t)、てん菜(13.2t)などの生産量増加。
		基準値	197	目標値	212	最終目標値	258	年度	H26	H27	進捗率	
(指標の説明) 北海道の食料消費が、道内の農業生産によってどのくらい賄われるかをカロリー(供給熱量)ベースで算出したもの	根拠計画	増減方向		達成率の算式		目標値	202	207	258.0	第5期北海道農業・農村振興推進計画 北海道総合計画		
		増加		$\frac{\text{実績値}}{\text{目標値}} \times 100$		実績値	208	-	208.0			
		達成率		103.0%		-		80.6%				

関	関連指標名(単位)	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	A	評価年度	H26	達成度合の分析 ほか
		基準年度	25	年度	28	最終年度	31					
農業産出額(億円)		基準年度	25	年度	28	最終年度	31	達成度合	A	評価年度	H26	米の産出額は、米価の低下により減少したが、肉用牛、乳用牛、豚の価格が上昇して目標値を達成。
		基準値	10,705	目標値	10,705	最終目標値	10,705	年度	H26	H27	進捗率	
(指標の説明) 品目毎の生産数量に品目毎の農家庭先販売価格を乗じて算出したもの	根拠計画	増減方向		達成率の算式		目標値	10,705	10,705	10,705	北海道創生総合戦略		
		維持		$\frac{\text{実績値}}{\text{目標値}} \times 100$		実績値	11,110	-	11,110			
		達成率		103.8%		-		103.8%				

関	関連指標名(単位)	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	-	評価年度	-	達成度合の分析 ほか
		基準年度	25	年度	28	最終年度	31					
薬用作物の栽培面積(ha)		基準年度	25	年度	28	最終年度	31	達成度合	-	評価年度	-	現時点では26年度以降の栽培面積が公表されていないため、達成率の算定はできないが、31年度における最終目標値の達成を目指し、取組を推進。
		基準値	323	目標値	323	最終目標値	600	年度	H27	H28	進捗率	
(指標の説明) 薬用作物を栽培している面積	根拠計画	増減方向		達成率の算式		目標値	323.0	323.0	600.0	北海道創生総合戦略		
		増加		$\frac{\text{実績値} - (\text{基準値})}{(\text{目標値}) - (\text{基準値})} \times 100$		実績値	-	-	-			
		達成率		-		-		-				

関	関連指標名(単位)	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	A	評価年度	H27	達成度合の分析 ほか
		基準年度	25	年度	28	最終年度	31					
地籍調査進捗率(%)		基準年度	25	年度	28	最終年度	31	達成度合	A	評価年度	H27	第6次国土調査事業十箇年計画(平成22年5月閣議決定)に基づき、24市町村において計画的な実施を図ったことから目標値を達成。
		基準値	61	目標値	61.5	最終目標値	65	年度	H27	H28	進捗率	
(指標の説明) 地籍調査を実施した面積を、国有林及び公有水面等を除いた対象面積で除して算出したもの	根拠計画	増減方向		達成率の算式		目標値	61.4	61.5	65.0	北海道強靱化計画		
		増加		$\frac{\text{実績値} - (\text{基準値})}{(\text{目標値}) - (\text{基準値})} \times 100$		実績値	61.4	-	61.4			
		達成率		100.0%		-		94.5%				

本施策に成果指標を設定できない理由	判定 (直近の達成率(%))	A	B	C	D	-	結果
		100以上	90以上100未満	80以上90未満	80未満	算定不可	
	主要指標	1					
関連指標	2					1	

Plan 事務事業の設定 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式2) Do and Check 事務事業評価

4 一次評価結果 (各部署等による評価)

4 - 2 事務事業の評価

H28 整理番号	指標	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	業務目標の設定 (P)						事務事業評価 (C)										
					平成28年度						重点点検事項			一次政策評価							
					事業費 (千円)	執行体制 (人工)				フルコスト	総合 戦略	強靱 化	新・ 北海 道ビ ジョン	重点 事業	地域 重点	H27二次政策 評価意見	対応状況	連携事業 (整理番 号)	終 期	推 進 事	必要な見 直し
本庁	出先 機関	人工計	人件費																		
06010400		EPA交渉・WTO農業交渉等バックアップ事業費	EPA交渉・WTO交渉に関する道民・国民の合意形成や理解の浸透を図るため、交渉に関する啓発活動の実施	農政課	349	3.0	0.0	3.0	24,735	25,084									継続 (現状維持)	継続 (現状維持)	現状維持
06010500		北海道農業・農村確立連絡会議等	連絡会議の開催及び国等に対する提案活動の実施	農政課	151	1.5	0.0	1.5	12,368	12,519									継続 (現状維持)	継続 (現状維持)	現状維持
06010699		第5期農業・農村振興推進計画検討策定費	北海道農業・農村振興条例に基づき、第5期北海道農業・農村振興推進計画を推進	農政課	0	1.5	0.0	1.5	12,368	12,368									-	継続 (現状維持)	現状維持
06031700	主	道産小麦利用転換ニーズ増進事業費(麦チェーン事業費)	道産小麦の安定した需給体制を確立し、道産小麦の付加価値向上と地産地消を推進	食品政策課	0	1.0	1.5	2.5	20,613	20,613									-	継続 (現状維持)	現状維持
06040100	主、関	新たな米政策推進円滑化事業費	北海道米のブランド力強化による道外での販売拡大と、中食・外食などでの業務用米需要の拡大を図るとともに、水田フル活用の実現をめざして飼料用米等の生産・利用拡大への支援や省力・低コスト生産体制づくりを推進する	農産振興課	6,014	2.6	1.0	3.6	29,682	35,696									継続 (縮小)	継続 (現状維持)	縮小
06040200	主、関	米流通対策指導事業費	「米トレーサビリティ法」及び「改正食糧法」に基づき、米穀等の取引などに係る情報の記録及び産地情報の伝達並びに米穀出荷・販売事業者が遵守すべき事項の履行の適正化を図るため、米穀取扱業者等への立入検査や事業者への指導、普及啓発等を行う	農産振興課	1,002	2.1	1.5	3.6	29,682	30,684									継続 (縮小)	継続 (現状維持)	縮小
06040300	主、関	水田農業元気づくり推進事業費[団体補助金]	地域水田農業の産地確立に向け、加工用米・備蓄米等の低コスト・安定生産や転作表の生産性向上などの技術研修会の開催・情報提供を支援する	農産振興課	1,156	1.8	0.0	1.8	14,841	15,997									継続 (縮小)	継続 (現状維持)	縮小
06040400	主、関	農産物検査指導監督等推進費	第4次一括法により都道府県知事が行うこととされた、農産物検査法に規定される農林水産大臣の権限に属する事務の一部を適切かつ円滑に執行し、農産物検査の適正かつ確実な実施を確保する	農産振興課	2,223	2.0	0.1	2.1	17,315	19,538									継続 (縮小)	継続 (現状維持)	縮小
06040500	主、関	原種等生産事業費	主要農作物及び主要畑作物の生産性及び品質の向上のため、優良種子の生産安定及び安定供給を行う	農産振興課	149,069	1.0	2.0	3.0	24,735	173,804									継続 (現状維持)	継続 (現状維持)	現状維持
06040600	主、関	原種等生産事業費[団体補助金]	主要畑作物の生産性及び品質の向上のため、優良種子の生産安定及び安定供給を行う	農産振興課	519	0.2	0.0	0.2	1,649	2,168									継続 (現状維持)	継続 (現状維持)	現状維持

H28 整理番号	業務目標の設定(P)											事務事業評価(C)														
	指標	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	平成28年度 執行体制(人工)					総合 戦略	強化	新・ 北海 道ビ ジョン	重点 事業	地域 重点	一次政策評価											
					事業費 (千円)	フルコスト									重点点検事項			H27二次政策 評価意見	対応状況	連携事業 (整理番 号)	終 期	推 進 事	必要な見 直し	予算	サービ ス	方向性
						本庁	出先 機関	人工計	人件費						本庁	出先 機関	人工計									
06040700	主、関	農産物供給体制確立事業費	道産農産物の競争力強化を図るため、産地における力強い生産供給対策を確立する	農産振興課	2,818	1.6	2.9	4.5	37,103	39,921									継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小					
06040800	主、関	GAP(農業生産工程管理)ステップアップ事業	「食の北海道ブランド」の向上を図るため、農業生産段階における有効なリスク管理の手法である農業生産工程管理(GAP)について、道内全ての主要な産地への導入及びGAP指導者の育成を推進する	農産振興課	377	0.5	0.5	1.0	8,245	8,622									継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小					
06040900	主、関	産地パワーアップ事業費	農業の国際競争力の強化を図るため、地域の営農戦略として定めた産地パワーアップ計画に基づき、地域が一丸となった産地の高収益化に向けた取組を総合的に支援する	農産振興課	8,182,500	1.5	1.0	2.5	20,613	8,203,113									継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小					
06041000	主、関	豆類安定生産推進対策事業費	道産豆類の品質を重視した生産技術の確立・推進、計画生産を推進し、生産性の向上・品質改善及び安定生産を図る	農産振興課	5,417	1.4	1.4	2.8	23,086	28,503									継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持					
06041100	主、関	畑作物生産改善対策費	馬鈴しょ採種事業の健全な発展及び道内の馬鈴しょ栽培の安定を図るため、種馬鈴しょ生産者及び集荷販売業者の登録など、北海道種馬鈴しょ生産販売取締条例で定める事務を行う	農産振興課	84	0.2	0.1	0.3	2,474	2,558									継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持					
06041200	主、関	道産小麦利用転換ニーズ増進事業費(麦チェーン事業費)	新品種秋まき小麦「ゆめちから」の安定生産と、商品開発を推進することにより、輸入小麦から道産小麦への利用転換(麦チェーン)を図る	農産振興課	4,083	1.7	0.9	2.6	21,437	25,520									継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小					
06041300	主、関	輪作体系維持・確立対策事業費	近年、1戸当たり面積の拡大、ジャガイモシストセンチュウの蔓延拡大などによって、基幹的な輪作作物であるてん菜と馬鈴しょの作付面積が減少し輪作体系の崩れがみられることから、当該作付の安定化を推進し、本道畑作農業における輪作体系の維持・確立を図る	農産振興課	2,392	1.0	0.8	1.8	14,841	17,233									継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持					
06041400	主、関	ヘンプ生育検討事業費	国内で唯一栽培可能な無毒性品種「とちぎしろ」を試験栽培し、生育調査等を実施するなど、生育の可能性について検討を行う	農産振興課	2,441	0.4	0.0	0.4	3,298	5,739									終了	終了	終了					
06041500	主、関	薬用作物産地確立支援事業費	薬用作物の需要の拡大が見込まれる中で、北海道は北方系の栽培適地であることや、大規模栽培による生産コストの低減が図られることなどから、道内での薬用作物栽培に対する支援の検討及びモデル地域における実証ほの設置や技術指導を実施する	農産振興課	325	0.4	0.1	0.5	4,123	4,448									終了	終了	終了					
06041600	主、関	薬用作物地域生産モデル構築支援事業費	薬用作物の産地化を目指す地域を総合的に支援し、地域生産モデル構築スキームを確立・普及するとともに、地域の指導体制を確立する	農産振興課	0	0.5	0.0	0.5	4,123	4,123									-	継続(現状維持)	現状維持					

H28 整理番号	業務目標の設定 (P)										事務事業評価 (C)																
	指標	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	平成28年度 執行体制(人工)					総合 戦略	強靱 化	新・ 北海 道ビ ジョン	重点 事業	地域 重点	一次政策評価												
					事業費 (千円)	本庁	出先 機関	人工計	人件費						フルコスト	重点点検事項			必要の見 直し	予算	サービス	方向性					
H27二次政策 評価意見	対応状況	連携事業 (整理番 号)	終 期	推 進 事																							
060417 00	主、関	野菜価格安定 資金造成事業 補助金	主要野菜の安定供給を図ることを目的とし、野菜価格が著しく低落した場合の生産者に対する補給金交付のため、生産者、国、道の負担により資金造成を行う	農産振興課	44,055	1.3	0.0	1.3	10,719	54,774						国に対し、地方負担が生じないよう、国負担のみで実施可能な制度とするよう強く要望すること。	平成29年度国の施策及び予算に関する提案・要望において、「国民生活への影響が大きい、たまねぎなどの重要野菜について、自治体の負担を伴わないよう、野菜価格安定制度を見直すこと」を強く要望した。							継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小	
060418 00	主、関	北海道野菜ブ ランド力強化 推進事業費	加工・業務用野菜に係る生産・流通等の体系構築や新規野菜の導入検討、野菜の衛生管理対策に取り組むことで、北海道野菜のブランド力をさらに強化し、北海道野菜の振興を図る	農産振興課	2,572	1.0	0.6	1.6	13,192	15,764														継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小	
060419 00	主、関	北海道次世代 施設園芸推進 事業費	養液栽培(植物工場)等の高度化した次世代施設園芸の普及を推進するとともに、次世代施設園芸を担う人材を育成することにより、普及のポテンシャル向上を図ることで、次世代施設園芸経営の確立・発展を目指す	農産振興課	2,380	0.8	0.1	0.9	7,421	9,801															終了	終了	終了
060420 00	主、関	加工・業務用 野菜産地生産 基盤強化推進 事業費	加工・業務用野菜への転換を推進する産地に対し、加工・業務用野菜の安定生産に必要な作柄安定技術の導入を支援する事業に係る事務を受託する	農産振興課	834	0.5	0.1	0.6	4,947	5,781															継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持
060421 00	主、関	国産花きイノ ベーション受 託事業費	北海道花き振興協議会が実施する事業の円滑な推進を図るため、一部取組を同協議会から道が受託することにより、道内花き産地の強化を図る	農産振興課	500	0.8	0.1	0.9	7,421	7,921															継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持
060422 00	主、関	フルーツラン ド北海道推進 事業費	道産果実の優位性を高めながらトップクラスの産地を目指して、果樹生産者団体と連携し、高品質安定生産やブランド力の強化、高付加価値化、需要拡大などの取組を推進する	農産振興課	2,570	1.2	0.0	1.2	9,894	12,464															継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小
060423 99	主、関	課内総括事務	職員の仕事・研修、道議会事務、予算・決算等課内の庶務に関する事務全般及び農産経営の企画調整に関すること	農産振興課	0	2.0	1.7	3.7	30,507	30,507															-	継続(現状維持)	現状維持
060424 99	主、関	農産物の生産 振興対策に関 すること	畑作物・米・園芸作物の生産振興及び流通等に関すること	農産振興課	0	5.5	13.1	18.6	153,357	153,357															-	継続(現状維持)	現状維持
060501 00	主、関	畜産振興総合 対策推進指導 事業費	技術高度化指導(畜産経営コンサル)等への補助金等	畜産振興課	2,726	0.3	0.0	0.3	2,474	5,200															継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小
060502 00	主、関	牛群検定高度 化推進事業費	牛群検定事業・後代検定事業の補助金交付事務及び事業推進・指導事務	畜産振興課	76,933	0.6	0.1	0.7	5,772	82,705															継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小
060503 00	主、関	飼料対策事業 費	飼料製造販売業者や畜産農家等に対する立入検査・指導事務	畜産振興課	1,627	0.7	2.9	3.6	29,682	31,309															継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小

H28 整理番号	業務目標の設定(P)											事務事業評価(C)											
	指標	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	平成28年度					総合 戦略	強化	新・ 北海 道ビ ジョン	重点 事業	地域 重点	一次政策評価								
					事業費 (千円)	執行体制(人工)									フルコスト	重点点検事項				必要の見 直し	予算	サービス	方向性
						本庁	出先 機関	人工計	人件費							H27二次政策 評価意見	対応状況	連携事業 (整理番 号)	終 期				
06050400	主、関	生乳乳製品流通対策推進指導事業費	生乳生産に係る生産者団体と乳業者との意見調整や生乳の計画生産と適切な生乳取引に係る取組に対して助成	畜産振興課	2,163	0.6	0.0	0.6	4,947	7,110									継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小		
06050500	主、関	畜産環境保全推進対策事業費	家畜排せつ物の適正管理と有効利用の指導助言	畜産振興課	368	1.0	4.8	5.8	47,821	48,189									継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持		
06050600	主、関	監視・危機管理体制整備対策事業費	家畜伝染病の予防対策のための推進事務	畜産振興課	1,656	0.4	9.1	9.5	78,328	79,984									継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小		
06050700	主、関	地域衛生管理体制整備事業費補助金	家畜伝染性疾病の発生予防やまん延防止のための地域衛生管理体制整備に対する補助金	畜産振興課	40,886	0.2	0.1	0.3	2,474	43,360									継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持		
06050800	主、関	農場リース円滑化事業費	補助整備事業の補助残に公社の内部資金を充当する際の運用金利相当分を助成	畜産振興課	1,111	0.5	0.6	1.1	9,070	10,181									公社の自主事業化に向けた検討を進めること。 酪農の担い手確保に必要不可欠な新規就農を円滑に推進する必要があることから、道が支援を行う必要がある。	継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持	
06050900	主、関	酪農経営ヘルパー育成支援促進事業費	道産生乳の安定供給のため、現行の「酪農ヘルパー」の役割に加えて、地域の求める労働力支援を担う「酪農経営ヘルパー」を育成する事業に支援	畜産振興課	3,825	1.1	0.0	1.1	9,070	12,895									継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小		
06051000	主、関	養蜂指導費	蜜蜂の適正な入地調整を行い、蜂蜜及び蜜ろうの増産を推進	畜産振興課	2,402	0.9	0.3	1.2	9,894	12,296									継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持		
06051100	主、関	酪農畜産行政推進費	酪農・畜産の振興・安定的発展のための諸事務に要する経費 ・地全協関係申請事務、酪肉近計画推進指導事務に関する こと ・畜産振興事業、加工原料乳数量認定、生乳数量の確認、乳業工場立入検査、軽種馬資金事務、リース事業現地指導 ・家畜商講習会、家畜商、家畜市場に関する こと ・家畜人工授精師、授精所、種畜検査に関する こと	畜産振興課	18,639	8.0	5.9	13.9	114,606	133,245									継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小		
06051200	主、関	畜産環境保全施設整備特別緊急対策事業費補助金	畜産環境整備リース事業に対する上乗せ補助金	畜産振興課	416,288	0.8	2.0	2.8	23,086	439,374									終了	終了	終了		
06051300	主、関	家畜排せつ物利用施設整備特別支援対策事業費補助金	畜産環境整備リース事業に対する上乗せ補助金	畜産振興課	182,087	0.2	0.4	0.6	4,947	187,034									継続(拡充)	継続(現状維持)	現状維持		
06051400	主、関	家畜伝染病予防費(義務)	伝染病予防のための病性鑑定業務	畜産振興課	422,328	2.0	44.0	46.0	379,270	801,598									継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持		
06051500	主、関	家畜衛生指導推進費	家畜自衛防疫組織の育成強化や動物用医薬品等の適正な監督指導事務	畜産振興課	1,753	0.8	9.4	10.2	84,099	85,852									継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持		

H28 整理番号	業務目標の設定(P)											事務事業評価(C)															
	指標	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	平成28年度					総合 戦略	強化	新・ 北海 道ビ ジョン	重点 事業	地域 重点	一次政策評価												
					事業費 (千円)	執行体制(人工)									フルコスト	重点点検事項			H27二次政策 評価意見	対応状況	連携事業 (整理番 号)	終 期	推 進 事	必要な見 直し	予算	サービ ス	方向性
						本庁	出先 機関	人工計	人件費																		
06051600	主、関	家畜衛生指導 推進費[義務]	事務取扱委託費	畜産振興 課	13,057	0.1	1.5	1.6	13,192	26,249									継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持						
06051700	主、関	牛海綿状脳症 病性鑑定費	牛海綿状脳症(BSE)に係る 24ヶ月齢以上の死亡牛の全 頭検査を実施	畜産振興 課	271,725	1.0	27.5	28.5	234,983	506,708									継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小						
06051800	主、関	運営費(家畜 保健衛生所)	家畜保健衛生所の運営、施設 維持等に関する事務	畜産振興 課	63,632	0.4	8.7	9.1	75,030	138,662									継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持						
06051900	主、関	施設設備整備 費(家畜保健 衛生所)	家畜保健衛生所の施設整備等 に関する事務	畜産振興 課	14,986	0.3	6.5	6.8	56,066	71,052									継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持						
06052000	主、関	家畜衛生情報 処理システム 更新事業費	家畜防疫地図システムの運 用・保守	畜産振興 課	6,585	0.1	2.2	2.3	18,964	25,549									継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持						
06052100	主、関	家畜保健衛生 所維持運営費 [維持]	家畜保健衛生所の維持・運営 に要する経費	畜産振興 課	41,876	0.4	8.7	9.1	75,030	116,906									継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小						
06052200	主、関	家畜保健衛生 所施設整備費 [維持]	家畜保健衛生所の施設設備に 要する経費	畜産振興 課	4,710	0.2	4.3	4.5	37,103	41,813									継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持						
06052300	主、関	家畜衛生情報 処理システム 確立事業費 [維持]	家畜防疫地図システムの維持 管理等に係る経費	畜産振興 課	5,496	0.1	2.2	2.3	18,964	24,460									継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持						
06052400	主、関	ボイラー検査 費(家畜保健 衛生所)[義 務]	ボイラー等検査に要する経費 (義務費)	畜産振興 課	10	0.0	0.0	0.0	0	10									継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持						
06052599	主、関	畜産振興課総 合調整等業務	職員の服務・研修、議事 務、予算・決算等課内の庶務 に関する事務全般及び畜産経 営の企画調整に関すること	畜産振興 課	0	3.5	0.0	3.5	28,858	28,858									-	継続(現状維持)	現状維持						
06052699	主、関	酪農振興に関 すること	家畜個体識別システム、畜産 物価格及び関連対策等に関す ること	畜産振興 課	0	1.9	2.7	4.6	37,927	37,927									-	継続(現状維持)	現状維持						
06052799	主、関	肉牛及び中小 家畜に関する こと	種畜・種鶏の譲渡申請等に関 すること	畜産振興 課	0	2.1	4.1	6.2	51,119	51,119									-	継続(現状維持)	現状維持						
06052899	主、関	家畜ふん尿、 飼料及び馬に 関すること	家畜排泄物法、飼料安全 法、馬事振興等に関すること	畜産振興 課	0	1.3	6.1	7.4	61,013	61,013									-	継続(現状維持)	現状維持						
06052999	主、関	家畜衛生に関 すること	家畜伝染病防疫、動物用医薬 品の安全対策、獣医師法獣医 療法等に関すること	畜産振興 課	0	1.1	16.0	17.1	140,990	140,990									-	継続(現状維持)	現状維持						

H28 整理番号	業務目標の設定(P)											事務事業評価(C)											
	指標	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	平成28年度					総合 戦略	強化	新・ 北海 道ビ ジョン	重点 事業	地域 重点	一次政策評価								
					事業費 (千円)	執行体制(人工)									フルコスト	重点点検事項				必要の見 直し	予算	サービス	方向性
						本庁	出先 機関	人工計	人件費							H27二次政策 評価意見	対応状況	連携事業 (整理番 号)	終 期				
06053000	主、関	北海道和牛生産基盤振興事業費	道産種雄牛「勝早桜5」を活用し、優良繁殖雌牛群の増頭を図るとともに、地域における和牛生産技術の向上や自給飼料を活用した低コスト和牛生産の導入を進めることで、和牛生産基盤の維持・拡大と北海道の特色を活かした和牛生産を推進	畜産振興課	4,675	0.8	0.1	0.9	7,421	12,096								継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小			
06053100	主、関	飼料生産力強化対策事業費	飼料自給率の向上を図るため、植生が悪化している草地の植生改善対策として、強毒雑草防除の徹底による良質な自給飼料の増産対策を強化	畜産振興課	1,772	1.2	0.7	1.9	15,666	17,438								継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小			
06053200	主、関	畜産競争力強化対策整備事業費	経営の効率化や収益性の向上による生産基盤の強化に必要な家畜飼養管理施設の整備等の支援	畜産振興課	15,130,329	1.0	0.5	1.5	12,368	15,142,697								継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小			
06053300	主、関	酪農王国・北海道の次世代酪農モデル構築事業	放牧酪農の推進、搾乳ロボット導入効果の発現、乳牛のベストパフォーマンスの実現、移住定住を希望する者に農場リースによる新規就農をサポートする取組を支援	畜産振興課	0	0.2	0.0	0.2	1,649	1,649								-	継続(現状維持)	現状維持			
06053400	主、関	北海道産牛肉のブランド化対策、消費流通対策、需要拡大に向けた交流会等を開催することにより、安定した北海道産牛肉の生産を推進	畜産振興課	8,000	0.2	0.0	0.2	1,649	9,649									終了	終了	終了			
06060100	主	普及活動推進事業費	農業改良助長法に基づき、普及指導員が行う地域の実情・課題を踏まえた普及活動の展開、農作物の生育状況に応じた営農技術対策の発信、試験研究機関と連携した農業技術の体系化、消費者ニーズに対応した優良品種の開発・普及及び高度な技術習得研修の実施や調査研究活動を行う事務	技術普及課	52,228	6.1	5.6	11.7	96,467	148,695								継続(縮小)	継続(拡充)	拡充			
06060200	主	営農改善促進事業費	農業改良助長法に基づき、普及指導員が行う地域の実情・課題を踏まえた普及活動の展開、農作物の生育状況に応じた営農技術対策の発信、試験研究機関と連携した農業技術の体系化、消費者ニーズに対応した優良品種の開発・普及及び高度な技術習得研修の実施や調査研究活動を行う事務	技術普及課	2,479	0.0	0.0	0.0	0	2,479								継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持			
06060300	主	専門技術普及指導費[維持]	(地独)北海道立総合研究機構農業研究本部及び各農業試験場に駐在する普及指導員の活動に必要な車両などの維持運営を行う事務	技術普及課	7,746	0.5	0.0	0.5	4,123	11,869								継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持			
06060400	主	農業情報システム推進事業費[維持]	農業改良普及センター等における、全国ネットワークの活用や電話やファックス等の通信料の管理に関する事務	技術普及課	14,511	0.0	0.7	0.7	5,772	20,283								継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持			

H28 整理番号	業務目標の設定(P)											事務事業評価(C)											
	指標	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	平成28年度					総合 戦略	強 靱 化	新・ 北 海 道 ビ ジ ョ ン	重 点 事 業	地 域 重 点	一次政策評価								
					事業費 (千円)	執行体制(人工)									フルコスト	重点点検事項				必要 な 見 直 し	予 算	サ ー ビ ス	方 向 性
						本 庁	出 先 機 関	人 工 計	人 件 費							H27二次政策 評価意見	対 応 状 況	連 携 事 業 (整 理 番 号)	終 期				
06060500	主	普及活動推進事業費(義務)	農業改良助長法に基づき、普及指導員が行う現地での普及指導活動に必要な日額旅費を管理する事務	技術普及課	8,785	0.0	0.8	0.8	6,596	15,381									継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持		
06060600	主	農業改良普及センター管理費	高度で効率的かつ効果的な普及活動を展開するために必要な農業改良普及センターの機材等整備を行う事務	技術普及課	61,615	0.3	1.9	2.2	18,139	79,754									継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小		
06060700	主	農業改良普及センター維持運営費	農業改良普及センターを運営するための事務	技術普及課	32,639	0.1	1.6	1.7	14,017	46,656									継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持		
06060800	主	農業改良普及センター車両維持費	農業改良普及センターの車両を維持・管理するための事務	技術普及課	80,133	0.1	2.3	2.4	19,788	99,921									継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持		
06060900	主	北海道スマート農業推進事業費	スマート農業の推進に関する事務	技術普及課	0	1.0	0.1	1.1	9,070	9,070									-	継続(現状維持)	現状維持		
06061000	主	植物防疫推進事業費	病害虫のまん延防止のため、病害虫の発生予察事業等を実施	技術普及課	18,093	0.2	0.7	0.9	7,421	25,514									継続(縮小)	継続(拡充)	拡充		
06061100	主	病害虫防除所運営費	病害虫防除所の円滑で適正な運営のための事業を実施	技術普及課	2,590	0.2	0.4	0.6	4,947	7,537									継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小		
06061200	主	病害虫防除対策事業費	移動規制病害虫の再発防止を継続的に監視を行う事業	技術普及課	491	0.2	0.5	0.7	5,772	6,263									継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小		
06061300	主	病害虫防除所運営費(維持)	庁舎等の維持管理	技術普及課	1,588	0.2	0.4	0.6	4,947	6,535									継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小		
06061400	主	ジャガイモシロシストセンチュウ緊急防除対策事業費	ジャガイモシロシストセンチュウの防除・まん延防止を図るための総合的な対策を行う事務	技術普及課	37,121	0.6	1.0	1.6	13,192	50,313									継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小		
06061500	主	農業生産資材安全使用等総合推進事業費	農業・肥料の適正な流通及び使用の確保や農作業安全の啓発指導、農業機械の効率的な利用	技術普及課	4,166	2.0	2.1	4.1	33,805	37,971									継続(縮小)	継続(拡充)	拡充		
06061600	主	へプタクロル残留対策事業費補助金	農業団体によるへプタクロルの残留分析に対する支援	技術普及課	16,268	0.3	0.4	0.7	5,772	22,040									継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持		
06061799	主	協同農業普及事業に関わる内部調整事務	普及活動に係る庁内、試験研究機関・農業団体等との調整事務	技術普及課	0	2.8	3.4	6.2	51,119	51,119									-	継続(現状維持)	現状維持		
06061899	主	試験研究に関わる内部調整事務	試験研究に係る庁内、道総研及び関係機関・団体との調整事務	技術普及課	0	1.8	1.9	3.7	30,507	30,507									-	継続(現状維持)	現状維持		

5 一次評価結果

		評価判定	成果指標の全体分析	施策全体に係る分析(具体的成果・連携状況)	判定
主要指標	-		<p><食料自給率[A]> 小麦(2万t)、大豆(1.2t)、てん菜(13.2t)などの生産量が順調に増加するなど、着実に食料自給率を向上させることができた。</p>	<p><施策を推進するに当たり、国等に要望・提案を行い、実現にむけて進捗しているか> 農業生産の振興のための必要な諸施策の提案を国に対して実施しており、状況の進捗が認められる。</p> <p><道民からのニーズを的確に把握し、施策推進に役立てているか> 「北海道農業・農村振興条例」で設置された「北海道農業・農村振興審議会」を複数回開催し、施策の推進に役立たせるとともに、「第5期北海道農業・農村推進計画」策定の際には、パブリックコメントを実施し、その意見を参考している。</p>	現状維持
関連指標	-		<p><農業産出額[A]> 米の産出額は、米価の低下により減少したが、肉用牛、乳用牛、豚の価格が上昇して目標値を達成した。</p> <p><薬用作物の栽培面積[算定不可]> 現時点では26年度以降の栽培面積が公表されていないため、達成率の算定はできない。</p> <p><地籍調査進捗率[A]> 第6次国土調査事業十箇年計画(平成22年5月閣議決定)に基づき、24市町村において計画的な実施を図ったことから目標値を達成した。</p>	<p><施策を推進するに当たり、他の施策、部局と連携した成果を確認できるか> 農畜産物の輸出拡大のため経済部食産業推進室が実施する施策と連携するとともにスマート農業の推進について経済部との連携を図ることができた。また、薬用栽培の推進などについて関係部と連携を図ることができた。</p>	
総合評価	概ね順調に展開	評価の概要	指標の達成度合については順当であるため、評価は「概ね順調に展開」とする。		

次年度に向けての課題と今後の方向性（対応方針）		（関連する計画等）		
方針	課 題 と 方 向 性	総合戦略	強靱化	ビジョン
	地域の高齢農家等の経営全般を支援する酪農経営ヘルパーの育成を支援するとともに、新たな酪農・肉用牛生産近代化計画の実現に向けて、放牧酪農の推進や乳牛のベストパフォーマンス実現、移住定住による新規就農を支援するなど、地域の生産基盤の強化と収益力の向上を図る。	A3112		C01102 C01201
	スマート農業に関する情報の共有・発信や課題の検討、人材育成や地域の実情に応じた技術体系の確立など、地域の営農システムへの戦略的な技術導入を推進する。	A3113		C01301 C01302 C01306
	産業用ヘンプは、大麻取締法により所有や栽培、譲渡等が厳しく制限されていることや産業用ヘンプに対する道民理解の促進を図る必要があるなどの課題がある。道内での産業用ヘンプ栽培技術確立のため、試験栽培の実施や道内に適した品種選定に向けた野生大麻の調査・分析、道内先進地との連携を推進する。	A3112		C01403
	本道酪農・畜産は、高齢化や離農が進み農家戸数や飼養頭数が減少するなど生産基盤の維持・強化が課題となっているため、地域全体で収益性向上を図り、競争力を強化するため、「畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業」を活用して家畜飼養管理施設の整備等を支援する。	A3112		C01102 C01201
	国内のトップランナーである北海道野菜のブランド力を更に強化し、多様なニーズに対応するため、加工・業務用野菜に係る生産・流通体系構築等を行うほか、北海道の地理的条件を活かした施設園芸の高度化を推進するとともに、価格安定対策における支援対象野菜の計画的な拡大等を図るなど、生産・出荷の安定化に向けた対策を総合的に実施する。	A3112		C01101
	ジャガイモシロシストセンチュウの発生している区域において、根絶のための防除対策を実施し、まん延防止・早期根絶を図る。	A3112		C01101
	30年産の米政策改革以降においても、本道が米主産地としての地位を揺るぎないものとし、売れる米づくりを基本とした水田農業の振興を図るため、北海道米のブランド力強化や新規需要米の利用拡大など多様なニーズに対応した米生産を推進する。	A3112		C01101
	飼料自給率の向上に向けて、強害雑草防除の徹底による良質な自給飼料の増産対策を強化するため、飼料自給率向上戦略会議の開催による全道的な情報共有を図るほか、地域における草地の植生改善の取組を推進する。	A3112		C01102 C01201
	道産原料を使ったワイン製造の気運が高まる中、醸造用ぶどうの苗木不足や、地域・生産者間における単収格差などの課題解決、ブランド化に向けた新たな有望品種の発掘に向け、苗木確保や栽培技術の向上、新品種の導入検討など醸造用ぶどうの生産拡大に必要な取組を総合的にサポートし、醸造用ぶどうの生産拡大・品質向上を図る。	A3112		C00504
	優良な道産種雄牛を活用し、優良繁殖雌牛群の増頭を図るとともに、地域における和牛生産技術の向上や自給飼料を活用した和牛生産の導入を進めることにより、本道の和牛生産基盤の維持・強化と北海道らしい和牛生産を推進する。	A3112		C01102
	薬用作物の生産拡大を図るためには、新たな担い手の育成や省力的な生産方式の確立など、製薬会社と地域が協力して技術対策に取り組むとともに、安定した取引条件の確保が必要。このため、生産者や農業団体、行政と取引企業等とが生産拡大のための役割分担を明確化し、こうした産地づくりの取組を横展開する中で、全道への拡大を目指す。	A3133		C01401
	安定した北海道産牛肉の生産を推進するため、「北海道産牛肉」のブランド力向上のため取組を推進するとともに、生産者や外食産業提供店のリスト化による消費拡大・認知度向上、料理教室等の需要拡大対策に向けた取組を支援する。	A3112		C01102
	農家戸数の減少や農業従事者の高齢化が進行する中、地域農業の持続的発展を図るため、農地利用の最適化(農地の担い手への集積・集約化、耕作放棄地の発生防止・解消、新規参入の促進)を推進	A3112		
	円滑な土地取引や被災した場合における復旧・復興の迅速化等を図るため、地籍調査の計画的な実施を推進		B7121	

施策名	農業生産の振興	施策コード	06	02
-----	---------	-------	----	----

Check 施策評価

6 二次評価結果（知事による評価）

改善意見	
------	--

平成28年度 基本評価調書

施策名	農業生産の振興	施策コード	06 02
-----	---------	-------	-------

Check 事務事業評価 Action

7 二次評価結果（知事による評価）

整理番号	事務事業名	一次評価(平成29年度の方向性)(再掲)						二次政策評価		主な対応		
		重点点検事項			必要な見直し	予算	サービス	方向性	方向性	二次政策評価意見	方向性	H28二次評価意見への対応
		連携事業(整理番号)	終期なし	推進事項								
06010400	EPA交渉・WTO農業交渉等バックアップ事業費					継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
06010500	北海道農業・農村確立連絡会議等					継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
06010699	第5期農業・農村振興推進計画検討策定費					-	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
06031700	道産小麦利用転換ニーズ増進事業費(麦チェーン事業費)					-	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		縮小	
06040100	新たな米政策推進円滑化事業費					継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小	縮小		現状維持	
06040200	米流通対策指導事業費					継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小	縮小		縮小	
06040300	水田農業元気づくり推進事業費[団体補助金]					継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小	縮小		縮小	
06040400	農産物検査指導監督等推進費					継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小	縮小		縮小	
06040500	原種等生産事業費					継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
06040600	原種等生産事業費[団体補助金]					継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
06040700	農産物供給体制確立事業費					継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小	縮小		縮小	
06040800	GAP(農業生産工程管理)ステップアップ事業					継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小	縮小		縮小	
06040900	産地パワーアップ事業費					継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小	縮小		縮小	
06041000	豆類安定生産推進対策事業費					継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
06041100	畑作物生産改善対策費					継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
06041200	道産小麦利用転換ニーズ増進事業費(麦チェーン事業費)					継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小	縮小		縮小	
06041300	輪作体系維持・確立対策事業費					継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	

整理番号	事務事業名	一次評価(平成29年度の方向性)(再掲)							二次政策評価		主な対応	
		重点点検事項			必要な見直し	予算	サービス	方向性	方向性	二次政策評価意見	方向性	H28二次評価意見への対応
		連携事業(整理番号)	終期なし	推進事項								
06041400	ヘンプ生育検討事業費					終了	終了	終了	終了		終了	
06041500	薬用作物産地確立支援事業費					終了	終了	終了	終了		終了	
06041600	薬用作物地域生産モデル構築支援事業費					継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		縮小	
06041700	野菜価格安定資金造成事業費補助金					継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小	縮小	国に対し、地方負担が生じないよう、国負担のみで実施可能な制度とするよう強く要望すること。	縮小	国に対し地方負担が生じないよう要望していく。
06041800	北海道野菜ブランド力強化推進事業費					継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小	縮小		縮小	
06041900	北海道次世代施設園芸推進事業費					終了	終了	終了	終了		終了	
06042000	加工・業務用野菜産地生産基盤強化推進事業費					継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
06042100	国産花きイノベーション受託事業費					継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		縮小	
06042200	フルーツランド北海道推進事業費					継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小	縮小		縮小	
06042399	課内総括事務					-	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
06042499	農産物の生産振興対策に関すること					-	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
06050100	畜産振興総合対策推進指導事業費					継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小	縮小		縮小	
06050200	牛群検定高度化推進事業費					継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小	縮小		現状維持	
06050300	飼料対策事業費					継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小	縮小		縮小	
06050400	生乳乳製品流通対策推進指導事業費					継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小	縮小		縮小	
06050500	畜産環境保全推進対策事業費					継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
06050600	監視・危機管理体制整備対策事業費					継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小	縮小		縮小	
06050700	地域衛生管理体制整備事業費補助金					継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		縮小	

整理番号	事務事業名	一次評価(平成29年度の方向性)(再掲)							二次政策評価		主な対応	
		重点点検事項			必要な見直し	予算	サービス	方向性	方向性	二次政策評価意見	方向性	H28二次評価意見への対応
		連携事業(整理番号)	終期なし	推進事項								
06050800	農場リース円滑化事業費					継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持	現状維持	H29年度に結論を得るよう、公社の自主事業化に向けた検討を進めること。	縮小	事業の見直しについて、公社と検討を継続する。
06050900	酪農経営ヘルパー育成支援促進事業費					継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小	縮小		縮小	
06051000	養蜂指導費					継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		縮小	
06051100	酪農畜産行政推進費					継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小	縮小		現状維持	
06051200	畜産環境保全施設整備特別緊急対策事業費補助金					終了	終了	終了	終了		終了	
06051300	家畜排せつ物利活用施設整備特別支援対策事業費補助金					継続(拡充)	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
06051400	家畜伝染病予防費[義務]					継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
06051500	家畜衛生指導推進費					継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
06051600	家畜衛生指導推進費[義務]					継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
06051700	牛海綿状脳症病性鑑定費					継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小	縮小		現状維持	
06051800	運営費(家畜保健衛生所)					継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		縮小	
06051900	施設設備整備費(家畜保健衛生所)					継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
06052000	家畜衛生情報処理システム更新事業費					継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		縮小	
06052100	家畜保健衛生所維持運営費[維持]					継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小	縮小		縮小	
06052200	家畜保健衛生所施設整備費[維持]					継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
06052300	家畜衛生情報処理システム確立事業費[維持]					継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		縮小	
06052400	ボイラー検査費(家畜保健衛生所)[義務]					継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
06052599	畜産振興課総合調整等業務					-	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
06052699	酪農振興に関すること					-	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	

整理番号	事務事業名	一次評価(平成29年度の方向性)(再掲)							二次政策評価		主な対応	
		重点点検事項			必要な見直し	予算	サービス	方向性	方向性	二次政策評価意見	方向性	H28二次評価意見への対応
		連携事業(整理番号)	終期なし	推進事項								
06052799	肉牛及び中小家畜に関すること					-	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
06052899	家畜ふん尿、飼料及び馬に関すること					-	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
06052999	家畜衛生に関すること					-	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
06053000	北海道和牛生産基盤振興事業費					継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小	縮小		縮小	
06053100	飼料生産力強化対策事業費					継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小	縮小		縮小	
06053200	畜産競争力強化対策整備事業費					継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小	縮小		縮小	
06053300	酪農王国・北海道の次世代酪農モデル構築事業					継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		縮小	
06053400	北海道産牛肉の販売力強化対策事業費					終了	終了	終了	終了		終了	
06060100	普及活動推進事業費					継続(縮小)	継続(拡充)	拡充	拡充		現状維持	
06060200	営農改善促進事業費					継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
06060300	専門技術普及指導費[維持]					継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		縮小	
06060400	農業情報システム推進事業費[維持]					継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
06060500	普及活動推進事業費[義務]					継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
06060600	農業改良普及センター管理費					継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小	縮小		縮小	
06060700	農業改良普及センター維持運営費					継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
06060800	農業改良普及センター車両維持費					継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		縮小	
06060900	北海道スマート農業推進事業費					継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		縮小	
06061000	植物防疫推進事業費					継続(縮小)	継続(拡充)	拡充	拡充		現状維持	
06061100	病虫害防除所運営費					継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小	縮小		縮小	
06061200	病虫害防除対策事業費					継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小	縮小		現状維持	

整理番号	事務事業名	一次評価(平成29年度の方向性)(再掲)							二次政策評価		主な対応	
		重点点検事項			必要な見直し	予算	サービス	方向性	方向性	二次政策評価意見	方向性	H28二次評価意見への対応
		連携事業(整理番号)	終期なし	推進事項								
06061300	病虫害防除所運営費[維持]					継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小	縮小		縮小	
06061400	ジャガイモシロシストセンチュウ緊急防除対策事業費					継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小	縮小		拡充	
06061500	農業生産資材安全使用等総合推進事業費					継続(縮小)	継続(拡充)	拡充	拡充		縮小	
06061600	ヘブタクロール残留対策事業費補助金					継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
06061799	協同農業普及事業に関わる内部調整事務					-	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
06061899	試験研究に関わる内部調整事務					-	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
06061999	技術普及課総合調整等業務					-	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
06062099	農業環境対策に係る内部調整事務					-	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
06062199	農業改良普及業務					-	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
06080100	農業委員会等活動促進助成費					継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
06080200	農地等権利調整指導費					継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
06080300	優良農地確保対策推進指導費					継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		終了	
06080400	機構集積支援事業費					継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
06080500	農業委員会等活動促進助成費[団体補助金]					継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小	縮小		現状維持	
06080600	市町村地籍調査事業費					継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小	縮小		縮小	
06080700	農業経営基盤強化事業事務取扱費					継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
06080899	農地調整課総合調整等業務					-	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	

施策名	農業生産の振興	施策コード	06 02
-----	---------	-------	-------

Action 施策・事務事業評価

8 施策評価結果の反映（各部署等が実施）

（1）一次評価結果への主な対応

対応方針	主 な 対 応
	<p><新たな取組等> ニュージーランドと連携した北海道型の放牧酪農モデルの普及の推進、乳牛のベストパフォーマンスの発揮、道内に移住定住を希望する新規参入者の受入体制の検討など、収益性・生産性等の向上や生産基盤の強化を図る。</p>
	<p><新たな取組等> 幅広い関係者が参画する「北海道スマート農業推進協議体」による情報の共有・発信のほか、企業間連携などによる技術課題への対応、人材育成や技術展示、地域の実情に応じた技術体系の確立支援など、地域の営農システムへの戦略的な技術導入を推進する。</p>
	<p><新たな取組等> 産業用ヘンプの栽培技術を確認するため、試験栽培の実施や道内に適した品種選定に向けた取組、道内先進地との連携を推進し、栽培技術の確立を検討する。 <廃止・縮小、見直しを行った取組等> 収量性に関する知見の蓄積や栽培に関する道民理解、実需側の現状把握といった新たな課題への対応が必要となり、他の事業により推進するため、ヘンプ生育検討事業を廃止。</p>
	<p><新たな取組等> 地域全体で収益性の向上を図り、競争力を強化するため、畜産経営の収益力の向上や飼料生産組織の経営高度化、畜産環境問題への対応など、畜産クラスター計画に基づく地域の中心的経営対等が行う施設の整備等を行う。</p>
	<p><新たな取組等> 実需者ニーズに対応した野菜の生産拡大を実現するため、水田地帯において水稲から野菜への転換を図り、実需者等の関係者と連携して取り組む新しい野菜産地の育成を支援する。 年間を通じて野菜の計画的かつ安定的な供給に資するため、平成26年から28年にかけて整備した次世代施設園芸北海道拠点において得られた知見等を活用し、生産者への普及啓発活動を展開することにより、本道の施設園芸全体に波及させ、生産性の高い高度な施設園芸の一大産地化を目指す。 <廃止・縮小、見直しを行った取組等> 北海道次世代施設園芸推進事業は事業年度を終了し、結論をえたことから他事業を推進するため廃止。</p>
	<p><新たな取組等> ジャガイモシロシストセンチュウの緊急防除に伴う発生状況の調査、土壌消毒等による根絶作業のほか、防除技術体系の確立など、総合的な対策を実施する。 <組織体制等の見直し> 緊急防除を円滑かつ確実に実施するためオホーツク総合振興局産業振興部の組織体制を強化</p>
	<p><新たな取組等> 消費者や実需者ニーズに応える「売れる米づくり」を基本とした水田農業の持続的な発展を図るため、直播栽培に適した品種の開発、高品質・良食味米の安定生産や省力・低コストな生産技術の確立・普及、安全・安心な北海道米の道内外での需要拡大など、生産、流通及び消費の各般にわたる総合的な対策を講ずる また、平成30年産以降の米政策の見直しが進められる中、水稲生産力を維持・確保するためには、低コスト省力化生産技術である直播栽培の推進が不可欠ことから、北海道立総合研究機構による直播適性を備えた優秀な品種の開発を加速化し、実需者からの多様なニーズに対応した北海道米の安定供給と生産性の向上を図る。</p>
	<p><新たな取組等> 飼料自給率の向上を図るため、高栄養価飼料の取組拡大等を通じて良質な自給飼料の増産対策を強化する。</p>
	<p><新たな取組等> 醸造用ぶどうの需要拡大が見込まれる中、苗木確保や栽培技術の向上など醸造用ぶどうの生産拡大に必要な取組を関係機関と連携しながら総合的にサポートし、醸造用ぶどうの生産拡大・品質向上を図る。</p>

対応方針	主 な 対 応
	<p>< 新たな取組等 > 地域生産組織の活動強化や自給飼料を活用した和牛生産支援を通じて、本道の和牛生産基盤の維持・強化と北海道らしい和牛生産を推進する。</p>
	<p>< 新たな取組等 > 実需から作付拡大の期待が高い薬用作物は、栽培技術が十分確立されていない等の産地形成上の諸課題があることから、薬用作物の産地化を目指す地域を総合的に支援し、地域生産モデル構築スキームを確立・普及するとともに、地域の指導体制を確立する。</p>
	<p>< 新たな取組等 > 消費流通対策の実施により安定した販売価格と供給先を確保し、生産者の所得の維持・拡大を図ることにより、安定した北海道産牛肉の生産を推進するため、特徴ある生産者リストの道HPへの掲載や北海道産牛肉PRのTVCM放映、食育教室の開催などの取組みを支援する。</p>
	<p>< 新たな取組等 > 農地利用の最適化を一層促進するため、農業委員会等活動促進助成費を増額(H28 750百万円 H29 1,400百万円)するとともに、耕作放棄地の発生防止・解消の取組を支援する「荒廃農地等利活用促進交付金」を新たに予算措置し、取組の推進を図る。</p>
	<p>< 組織体制等の見直し > 効率的な事業の実施を図るため、本庁事務一括化による事務事業の見直しを行い、国土調査十箇年計画及び市町村要望等を踏まえ、計画的な事業実施を推進し、不動産登記法第14条地図となる地積図及び地積簿を作成する。</p>

(2) 二次評価結果への主な対応

意見区分	主 な 対 応	意見区分	主 な 対 応

平成28年度 基本評価調書

施策名	農業生産の振興	施策コード	06	02
-----	---------	-------	----	----

Action 施策・事務事業評価

9 事務事業評価結果（方向性）への対応状況（各部局等が実施）

（1）事務事業評価で示した方向性への対応状況

区分 \ 方向性	見直し検討	拡 充	現状維持	縮 小	統 合	廃 止	終 了	合 計
評価結果	0 事業	3 事業	53 事業	30 事業	0 事業	0 事業	5 事業	91 事業
反映結果	0 事業	1 事業	47 事業	37 事業	0 事業	0 事業	6 事業	91 事業

（2）次年度新たに実施する事業

次年度新規事業(予定)
7 事業